

ワンポイント 英語

**YES か NO か**

日本からの留学生が、しばしばホームステイ先のホストとの間で生じる誤解の原因は、**YES** と **NO** の使い方です。 例えば、日本語では、

Q: 「豚肉は好きではないですよね？」 と尋ねられた時に、

A: 「はい、豚肉は好きではないです。」 と答えたり、

Q: 「あなたの旦那さんは日本人ではないですよね？」 と尋ねられた時に、

A: 「はい、私の夫は日本人ではありません。」 と答えます。

しかし、英語では、

**YES** の後は 肯定文

**NO** の後は 否定文

が続くので、

Q: You don't like pork, do you? と聞かれたら、

A: No, I don't. I don't like pork. と頭を横に振って答えるべきです。

(はい、好きではありません。)

Q: Your husband is not Japanese, is he? と聞かれたら、

A: No, he is not. My husband is not Japanese. と頭を横に振って

(はい、日本人ではありません。)

答えるべきで

---

それとは逆に

Q: 「豚肉は好きではないですよね？」 と尋ねられた時に、

A: 「いいえ、豚肉は好きですよ。」 と答えたい時には、

**Yes, I do. I (do) like pork.** と頭を縦に振って答えるべきです。

Q: 「あなたの旦那さんは日本人ではないですよね？」 と尋ねられた時に、

A: 「いいえ、私の夫は日本人ですよ。」 と答えたい時は、

**Yes, he is. He is Japanese.** と頭を縦に振って答えるべきです。

---

渋谷 昌治 (しぶや しょうじ) 先生: 1966年第11回高松宮杯全日本英語弁論大会優勝、早稲田大学主催全日本学生英語弁論大会優勝。1969年明治学院大学英文学部音声学科卒業。同年東京アナウンスアカデミー卒業。日本では、オールナイトニッポンのDJとして活躍。1969年留学のため渡米。1974年よりサンディエゴに定住。1976年「ショージ英会話教室」を開校。以来1000人以上の日本人に英語を教えたキャリア30年のベテラン英語教師。現在は、ミッションパレーの自宅で数多くの生徒を教えている。英語を習いたい方は以下までご連絡ください: 4966-B Waring Rd, San Diego, CA92120 Fax/Tel(619)286-1331